

V 資料編

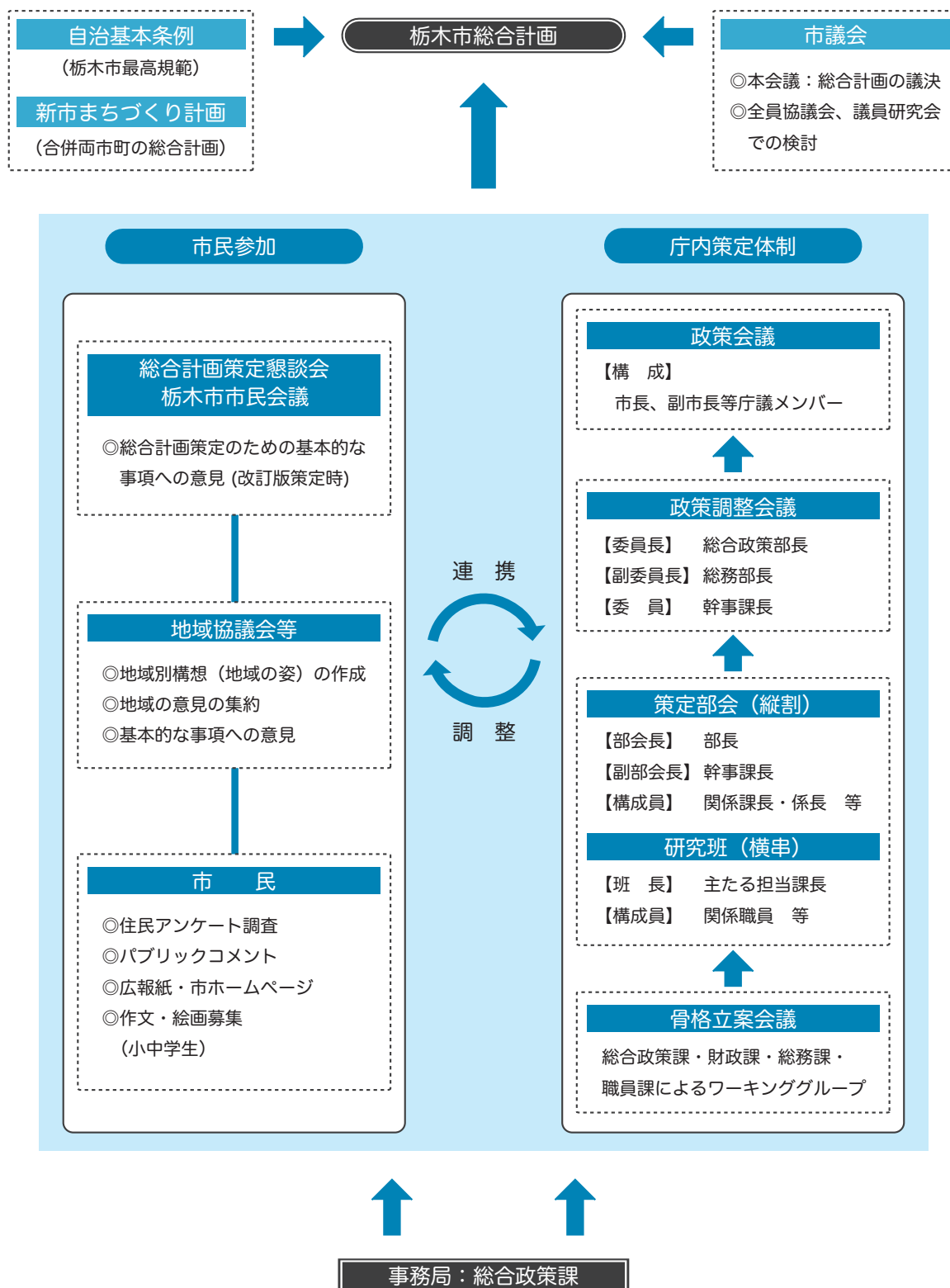
V 資料編

1. 策定体制	149
(1) 総合計画策定体制	149
(2) 総合計画策定懇談会	150
栃木市総合計画策定懇談会設置要綱	151
別表（第2条関係）	152
(3) 栃木市市民会議	153
(4) 地域の姿：検討体制	154
2. 策定の流れ	156
(1) 主要な経過	156
3. 市民参画	158
(1) 総合計画策定懇談会・栃木市市民会議	158
(2) 地域協議会等：「地域の姿」の策定経緯	159
① 栃木地域	159
② 大平地域	160
③ 藤岡地域	161
④ 都賀地域	162
⑤ 西方地域	163
⑥ 岩舟地域	164
4. 用語解説一覧	165

V 資料編

1 策定体制

(1) 総合計画策定体制



(2) 総合計画策定懇談会

(敬称略：団体名等は委員在職時のもの)

区 分	氏 名	団体名等
会 長	児玉 博昭	白鷗大学法学部教授
副会長	糸川 妙子	公募委員
委 員	慶野 昭次	栃木市議会議員
委 員	天谷 浩明	栃木市議会議員
委 員	梅澤 米満	栃木市議会議員
委 員	渡辺 照明	栃木市議会議員
委 員	鮎田 博	栃木市議会議員
委 員	岸 貞吉	栃木市自治会連合会 会長
委 員	平間 昇	大平町地域協議会
委 員	山土家光幸	藤岡町地域協議会
委 員	石本 俊光	都賀町地域協議会
委 員	横倉 利夫	西方町地域協議会
委 員	茂呂 晃男	栃木市消防団 団長
委 員	関口 輝雄	部落解放同盟栃木市協議会 副議長
委 員	早乙女とみ	栃木市女性団体連絡協議会 理事
委 員	湯本 昭彦	栃木警察署 署長
委 員	小川 陽三	栃木警察署 署長
委 員	小林 一成	栃木市社会福祉協議会 会長
委 員	江原 昭吉	栃木市身体障害者福祉会連合会 会長
委 員	小島 幸子	(財)栃木県知的障害者育成会栃木支部支部長
委 員	杉山 栄	栃木市老人クラブ連合会 理事
委 員	高瀬 佑子	栃木市母子保健推進員協議会 会長
委 員	高田 良久	栃木市医師会 理事
委 員	柏崎 桂二	栃木市民生委員児童委員協議会連合会 第八区民生委員児童委員協議会長
委 員	五月女貞作	下野農業協同組合 代表理事専務理事
委 員	大島 三郎	下野農業協同組合 代表理事専務理事
委 員	大山 寛	栃木市農業士会 会長
委 員	白澤 正弘	栃木商工会議所 副会頭

区 分	氏 名	団体名等
委 員	五十嵐 弘	大平町商工会 会長
委 員	藤崎 英治	大平町商工会 副会長
委 員	田中 久己	藤岡町商工会 会長
委 員	日向野孝夫	都賀町商工会 会長
委 員	針谷 正夫	西方商工会 会長
委 員	片柳 登	栃木市地区観光協会連絡協議会
委 員	増山 正明	栃木市都市計画審議会 会長
委 員	荒川 浩幸	栃木市PTA連合会 会長
委 員	鈴木 正俊	栃木市校長会 中学校部会
委 員	石川 均	栃木市幼稚園連合会 顧問
委 員	会田 哲治	栃木市保育連合会 会長
委 員	前橋 英壮	栃木市保育連合会 会長
委 員	黒田 和典	日本労働組合総連合会栃木県連合会 下都賀地域協議会 議長代行
委 員	千葉 康智	栃木市体育協会 副会長
委 員	大出 喜一	栃木市・栃木文化団体連絡協議会 副会長
委 員	大島 芳江	公募委員
委 員	大島 武士	公募委員
委 員	小花 一雄	公募委員
委 員	関口 昌英	公募委員
委 員	平井 良三	公募委員
委 員	岡田 安雄	公募委員
委 員	石塚 英治	公募委員
委 員	大島 政雄	公募委員
委 員	川上 幸男	公募委員
オブザーバ	鮎田 榮一	西方町議会議員
オブザーバ	小松 義邦	西方町協働のまちづくり推進会議

.....

[栃木市総合計画策定懇談会設置要綱]

(設置)

第1条 栃木市総合計画(以下「総合計画」という。)を策定するに当たり、基本的な事項について意見を求めるため、栃木市総合計画策定懇談会(以下「懇談会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 懇談会は、50人以内の委員をもって組織する。

2 懇談会の委員は、別表に掲げる団体を代表する者、公募による者及び学識経験を有する者のうちから市長が委嘱する。

(会長及び副会長)

第3条 懇談会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長は、委員の互選により定め、副会長は、委員のうちから会長が指名する。

3 会長は、懇談会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 懇談会の会議は、会長が招集する。ただし、委員の委嘱後最初の会議は、市長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 懇談会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第5条 懇談会の庶務は、総合政策部総合政策課において処理する。

(補則)

第6条 この告示に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、会長が懇談会に諮って定める。

附 則

1 この告示は、公布の日から施行する。

2 この告示は、総合計画の策定を終了した日限り、その効力を失う。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

別表(第2条関係)

栃木市議会

栃木市自治会連絡協議会

大平町地域協議会

藤岡町地域協議会

都賀町地域協議会

西方町地域協議会

栃木市消防団

人権団体

栃木市女性団体連絡協議会

栃木警察署

栃木市社会福祉協議会

栃木市身体障害者福祉連合会

栃木県知的障害者育成会栃木支部

栃木市老人クラブ連合会

栃木市母子保健推進員協議会

栃木市医師会

栃木市民生委員児童委員協議会連合会

下野農業協同組合

栃木市農業士会

栃木商工会議所

大平町商工会

藤岡町商工会

都賀町商工会

西方商工会

栃木市観光協会連絡会

栃木市都市計画審議会

栃木市PTA連合会

栃木市校長会

幼保団体

労働団体

栃木市体育協会

文化団体

(3) 栃木市市民会議

(敬称略：団体名等は委員在職時のもの)

区 分	氏 名	団体名等
会 長	三橋 伸夫	宇都宮大学教授
副会長	関谷 啓三	
副会長	本郷 文枝	公募委員
委 員	青柳恵美子	公募委員
委 員	牛山 進	公募委員
委 員	大塚 利雄	公募委員
委 員	甲斐 典子	公募委員
委 員	柏崎 勇	公募委員
委 員	小瀧 友吉	公募委員
委 員	椎名 映文	公募委員
委 員	関口 昌英	公募委員
委 員	平石 悦子	公募委員
委 員	麦倉 信二	公募委員
委 員	阿部 淳子	公募委員
委 員	栗原 功	公募委員
委 員	橋本 晴美	公募委員
委 員	星 光男	公募委員
委 員	上岡 節子	公募委員
委 員	村上 尚司	公募委員
委 員	山土家康雄	公募委員
委 員	川上 幸男	公募委員
委 員	森田 操	公募委員
委 員	酒巻 稔	公募委員
委 員	佐藤 俊六	公募委員
委 員	大竹 茂	公募委員
委 員	深津 照男	公募委員
委 員	山野井正美	公募委員
委 員	千葉 義弘	栃木市自治会連合会
委 員	富山 勝也	大平町地域協議会

区 分	氏 名	団体名等
委 員	田中 廣	藤岡町地域協議会
委 員	根本 勤	都賀町地域協議会
委 員	飯沼 邦利	西方町地域協議会
委 員	小林 覚	岩舟町地域協議会
委 員	小林 均也	栃木市栃木地域まちづくり検討委員会
委 員	佐山 雄軌	栃木青年会議所
委 員	茂呂 晃男	栃木市消防団
委 員	関口 輝雄	部落解放同盟 栃木市協議会
委 員	石崎 光夫	部落解放愛する会 栃木市協議会
委 員	大塚 禮子	栃木市女性団体連絡会
委 員	小林 一成	栃木市社会福祉協議会
委 員	佐藤 正弘	栃木市老人クラブ連合会
委 員	日向野文代	栃木市民生委員児童委員協議会連合会
委 員	山崎 進	栃木商工会議所
委 員	植竹 豊	大平町商工会
委 員	片柳 忠志	藤岡町商工会
委 員	三室 一男	都賀町商工会
委 員	山岸 弘幸	西方商工会
委 員	川原井正敏	岩舟町商工会
委 員	佐藤 隆	栃木市地区観光協会連絡協議会
委 員	大島 三郎	下野農業協同組合
委 員	和田 宗一	栃木市農業士会
委 員	出井 敬規	栃木市PTA連合会
委 員	猿山美代子	栃木市体育協会
委 員	荒川 敏江	栃木市文化活動協議会
学 識	中村 祐司	宇都宮大学教授
学 識	山田 昇	佐野短期大学教授
学 識	児玉 博昭	白鷗大学教授

(4) 地域の姿：検討体制

■ 栃木地域「地域の姿」検討委員会

(敬称略)

区分	氏 名
座 長	赤羽根 正夫
委 員	田村 中
委 員	小佐野 匡弘
委 員	森戸 勇
委 員	臼井 義雄
委 員	森戸 和男
委 員	高橋 正行
委 員	大豆生田 昇治
委 員	牧田 勇
委 員	関口 茂一郎
委 員	癸生川 孔章
委 員	浅野 照男
委 員	柏崎 章吉

区分	氏 名
委 員	小田垣 俊郎
委 員	長 昌光
委 員	高久 悦子
委 員	荒川 浩幸
委 員	手束 澄子
委 員	猿山 美代子
委 員	竹村 昭一
委 員	荻島 哲
委 員	伴 乃昶
委 員	酒巻 幸夫
委 員	飯塚 昌宏
委 員	國保 明

■ 大平町地域協議会

(敬称略)

区分	氏 名
会 長	柴田 保男
副会長	天海 英夫
委 員	阿部 勝彦
委 員	石山 靖夫
委 員	伊藤 宏幸
委 員	佐山 幸子
委 員	野原 耕作
委 員	高際 悦子

区分	氏 名
委 員	柏倉 昭夫
委 員	柳田 和子
委 員	川田 匡男
委 員	赤澤 美智子
委 員	堀江 智
委 員	小林 幸江
委 員	平間 昇
委 員	松本 芳夫

■ 藤岡町地域協議会

(敬称略)

区 分	氏 名
会 長	田中 久已
副会長	田中 博
委 員	石田 秀行
委 員	小曾根 慎一
委 員	柿沼 泰雄
委 員	繁岡 哲哉
委 員	清水 圭瑞
委 員	林 喜代子
委 員	藤井 剛

区 分	氏 名
委 員	荒川 節子
委 員	神原 良明
委 員	上岡 秋夫
委 員	亀田 諭
委 員	酒井 一則
委 員	山士家 光幸
委 員	永島 安紀
委 員	田村 孝子
委 員	五十畑 庄司

■都賀町地域協議会

区 分	氏 名
会 長	安生 孝章
副会長	日向野 孝夫
委 員	渡邊 政徳
委 員	桑谷 一郎
委 員	山田 加代子
委 員	千葉 康智
委 員	氏家 弘道
委 員	金山 ヒデ子
委 員	田中 洋一
委 員	渡辺 正衛

(敬称略)

区 分	氏 名
委 員	落合 正幸
委 員	森田 好枝
委 員	舘野 和男
委 員	栃木 孝夫
委 員	飯島 マサ子
委 員	根本 勤
委 員	石本 俊光
委 員	渡邊 紘夫
委 員	田邊 富美子

■西方町地域協議会

区 分	氏 名
会 長	和賀井 政雄
副会長	飯沼 邦利
委 員	青木 利男
委 員	出井 敬
委 員	宇賀神 末盈
委 員	大塚 孝司朗
委 員	大森 悦子
委 員	酒巻 稔

(敬称略)

区 分	氏 名
委 員	中村 正廣
委 員	若林 きく
委 員	石川 等
委 員	柳澤 恵子
委 員	荒川 里子
委 員	早乙女 のり子
委 員	横倉 利夫

■岩舟町地域協議会

区分	氏 名
会 長	渡辺 仁一
副会長	安藤 芳雄
委 員	海老沼 一利
委 員	佐山 晃
委 員	佐山 耕基
委 員	高久 厚子
委 員	増山 有理
委 員	増田 陽子

(敬称略)

区分	氏 名
委 員	山崎 シゲ子
委 員	若田部 詔夫
委 員	金澤 眞義
委 員	田中 正太郎
委 員	熊倉 三朗
委 員	小林 覚
委 員	山中 憲夫

2 策定の流れ

(1) 主要な経過

年月日		内 容
平成 22 年	11月 11 日	政策会議（総合計画策定の基本方針）
平成 23 年	4月 15 日	栃木市総合計画策定要領制定
	4月 26 日	栃木市総合計画策定懇談会公募委員募集要領制定
	4月 27 日	栃木市総合計画書に掲載する絵画・作文募集要領
	5月 11 日	第 1 回 骨格立案会議
	5月 12 日	地域の姿作成要領の制定
	5月 12 日	絵画・作文募集依頼（市内小中学校）
	5月 12 日	栃木市総合計画策定懇談会公募委員募集要領制定
	6月 7 日	栃木市総合計画策定懇談会設置要綱制定（告示）
	6月 16 日	第 2 回 骨格立案会議
	6月 22 日～7月 1 日	職員説明会（総合計画策定）
	7月 4 日	栃木市総合計画策定懇談会公募委員抽選選考会
	7月 20 日	第 3 回 骨格立案会議
	8月 9 日	第 1 回 栃木市総合計画策定懇談会
	8月 19 日	市民アンケート調査（9月 5 日〆切）
	9月 20 日	第 4 回 骨格立案会議
	10月 18 日	第 5 回 骨格立案会議
	10月 25 日	第 2 回 栃木市総合計画策定懇談会
	11月 22 日	栃木市総合計画策定懇談会設置要綱一部改正（告示）
	11月 25 日	第 6 回 骨格立案会議
	12月 8 日	第 7 回 骨格立案会議
平成 24 年	1月 16 日	議員研究会（総合計画基本構想）
	1月 24 日	第 8 回 骨格立案会議
	1月 26 日	第 3 回 栃木市総合計画策定懇談会
	1月 31 日～2月 28 日	地域協議会等（総合計画基本構想）
	2月 7 日～2月 14 日	職員説明会（基本計画の策定）
	2月 20 日～3月 21 日	パブリックコメント（総合計画基本構想）
	3月 12 日	第 9 回 骨格立案会議
	5月 1 日	第 10 回 骨格立案会議
	5月 25 日	政策会議（総合計画基本構想）
	6月 21 日～6月 29 日	地域協議会等（総合計画基本構想）
	7月 9 日	第 11 回 骨格立案会議
	7月 13 日	第 4 回 栃木市総合計画策定懇談会

年月日	内 容
平成 24 年	8 月 10 日 第12回 骨格立案会議
	8 月 17 日 議員研究会（総合計画基本構想・基本計画）
	8 月 20 日 政策会議（総合計画基本構想・基本計画）
	8月31日～9月28日 パブリックコメント（総合計画基本構想・基本計画）
	9月21日～9月27日 地域協議会等（総合計画基本構想・基本計画）
	10 月 2 日 第13回 骨格立案会議
	10 月 5 日 第5回 栃木市総合計画策定懇談会
	10 月 24 日 庁議付議（総合計画基本構想・基本計画）
	10 月 29 日 議会全員協議会（総合計画基本構想・基本計画）
	11 月 7 日 第6回 栃木市総合計画策定懇談会
	11 月 30 日 栃木市総合計画議決（市議会12月定例会）
平成 26 年	4 月 15 日 骨格立案会議（総合計画改訂版策定の基本方針）
	5 月 9 日 政策会議（総合計画改訂版策定の基本方針）
	5 月 12 日 小中学校絵画募集依頼（岩舟地域）
	5 月 16 日 総合計画改訂版策定作業説明会（基本方針ワーキンググループ）
	6 月 26 日 岩舟町地域協議会（総合計画改訂版策定の基本方針）
	7 月 29 日 岩舟町地域協議会（地域の姿策定）
	9 月 29 日 政策会議（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	10月20日～11月20日 パブリックコメント（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	10月22日 議員研究会（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	10月27日 岩舟町地域協議会（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	10月28日 藤岡町地域協議会（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	11月19日 栃木市市民会議（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
平成 27 年	1 月 8 日 庁議付議（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	1 月 30 日 議員研究会（総合計画改訂版基本構想・基本計画）
	3 月 23 日 栃木市総合計画改訂版議決（市議会3月定例会）

3 市民参画

(1) 総合計画策定懇談会・栃木市市民会議

■審議経過

年月日		内 容
平成23年	8月9日 《第1回》	【議事】 1. 栃木市総合計画策定の概要について 2. 計画書に掲載する絵画・作文の選考について 【報告】 1. 市民アンケート調査について 2. 栃木市行政改革大綱について 3. その他
	10月25日 《第2回》	【議事】 1. 栃木市総合計画策定に関する住民アンケート調査結果について 2. 新市行政改革大綱（財政自立計画）の骨子（素案）について 3. 計画書に掲載する絵画・作文の選考結果について 4. その他
平成24年	1月26日 《第3回》	【議事】 1. 栃木市総合計画の新将来像と施策大綱について（中間報告） 2. その他
	7月13日 《第4回》	【議事】 1. 栃木市総合計画基本構想（素案）について 2. その他
	10月5日 《第5回》	【議事】 1. 栃木市総合計画基本構想（素案）について 2. 栃木市総合計画基本計画（骨子案）について 3. 行政改革大綱・財政自立計画（素案）について 4. その他
	11月7日 《第6回》	【報告】 1. 栃木市総合計画基本構想（案）について 2. 栃木市総合計画基本計画（案）について 3. 行政改革大綱・財政自立計画（案）について 4. その他
平成26年	5月23日	【その他】 1. 栃木市総合計画改訂版の策定について
	11月19日	【その他】 1. 栃木市総合計画改訂版（素案）に関する意見聴取について

※平成26年度栃木市総合計画改訂版策定から栃木市市民会議による審議

(2) 地域協議会等：「地域の姿」の策定経緯

1 栃木地域

■審議経過

年月日		会議名
平成23年	8月10日	第1回栃木地域「地域の姿」策定ワーキンググループ
	9月15日	第1回栃木地域「地域の姿」策定検討会
	10月12日	第2回栃木地域「地域の姿」策定検討会
	10月28日	第3回栃木地域「地域の姿」策定検討会

■地域別まちづくりテーマ等の検討内容

- 古のロマンが薫る歴史の風と 都市的なセンスに満ちた新たな風が交差する
住む人も訪れる人も笑顔になれるまち ●

地域の役割や特性

- 栃木市の顔となる代表的な地域であり、鉄道や高速道路などの交通ネットワークによる交通の要衝として大きな役割を担っている。
- 地域中心部の巴波川や例幣使街道沿いの古い街並み・伝統的な建築物などの貴重な地域資源により、多くの来訪者が訪れるようになっている。
- 他地域との連携によるさらなるブランド力の向上や交流人口の増加が期待される。

まちづくりの方向

- ① 都市的機能の充実と地域資源の保全活用
- ② 良好な住環境の創出
- ③ 均衡ある産業振興による新たな雇用の創出
- ④ 交通拠点施設周辺の整備促進

地域重点事項

- ▶ 蔵の街並み、歴史的な建物の保全 等
- ▶ 文教都市としての伝統を後世に残す仕組みづくり 等
- ▶ 空き地、空き店舗、旧大規模小売店舗活用による中心市街地活性化 等
- ▶ 栃木駅南部地域及び地域医療拠点エリアの整備推進
栃木インターチェンジ周辺の企業立地の推進 等

② 太平地域

■審議経過

年月日		会議名
平成23年	7月14日	第1回大平総合支所策定部会 第1回大平総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月1日	第2回大平総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月11日	第3回大平総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月17日	第2回大平総合支所策定部会
	8月23日	第5回大平町地域協議会
	9月9日	第3回大平総合支所策定部会
	9月20日	第6回大平町地域協議会
平成24年	3月7日	第4回大平総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	3月23日	第12回大平町地域協議会
	7月13日	第4回大平総合支所策定部会
	7月20日	第4回大平町地域協議会

■地域別まちづくりテーマ等の検討内容

● 豊かな自然、活気あふれる街並み、心ふれあう協働のまち ●

地域の役割や特性

- 豊かな穀倉地帯・フルーツ産地としての農村部、美しい景観や観光資源を有する丘陵部、整備された市街地部により構成される。
- 世代を問わず快適に暮らすことのできる居住の場としての役割、優良な農地・良好な操業環境を有する就業の場としての役割を担う。
- 太平山南山麓の観光ぶどう園の集客力を活かした戦略的な取り組みにより、栃木市の更なる魅力アップに寄与することが期待される。

まちづくりの方向

- ① 新大平下駅周辺エリアの整備
- ② 太平山南山麓広域交流拠点の形成
- ③ 栃木駅南部エリアの整備
- ④ 安全・安心な住環境の形成
- ⑤ スポーツ・文化振興エリアの整備
- ⑥ 産業誘導エリアの整備

地域重点事項

- ▶ 新大平下駅西口土地区画整理事業の推進 等
- ▶ 太平山南山麓の丘陵地における遊歩道の整備・かかし等の施設の整備及び活用 等
- ▶ 栃木駅南部地域及び地域医療拠点エリアの整備推進 等
- ▶ 主要な生活道路における交通安全施設の整備(歩道、自転車専用道など) 等
- ▶ 大平運動公園施設の充実と大平運動公園を拠点とした総合スポーツの振興 等
- ▶ 産業誘導エリア(国道50号沿線)への企業立地等に向けた調査・研究 等

3 藤岡地域

■審議経過

年月日		会議名
平成23年	7月27日	第1回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月3日	第2回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月10日	第3回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月17日	第4回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月22日	藤岡町地域協議会 総務班会議
	8月23日	「地域の姿」作成についての全体会
	8月24日	第5回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	8月31日	第6回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	9月6日	藤岡町地域協議会 教育厚生班・建設経済班会議
	9月7日	第7回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	9月13日	藤岡町地域協議会 総務班会議
	9月14日	第8回藤岡総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	9月27日	第6回藤岡町地域協議会
平成24年	2月28日	第11回藤岡町地域協議会
	3月7日	藤岡町地域協議会 教育厚生班・建設経済班会議
	3月14日	藤岡町地域協議会 総務班会議
	3月27日	第12回藤岡町地域協議会
平成26年	10月28日	第7回藤岡町地域協議会

■地域別まちづくりテーマ等の検討内容

● みようよ！やろうよ！やすもうよ！とことん藤岡 しん発見！ ●

地域の役割や特性

- 渡良瀬遊水地、三轟山等の豊かな自然を活かした、スカイスports、ウォータースports、サイクリング、乗馬などのレジャースportsの活性化により、市内の活動的リラクゼーションスポットとして位置づけられる。
- 首都圏エリアの玄関口並びに市内の情報発信基地として機能することが期待される。

まちづくりの方向

- ① 渡良瀬遊水地エリアの活性化
- ② 三轟山エリアの活性化
- ③ 藤岡駅周辺整備
- ④ 地域資源エリアのネットワーク化
- ⑤ 産業基盤整備の強化
- ⑥ 地域資源を活用した子育て環境の充実
- ⑦ 高齢者がいきいきと過ごせる環境整備
- ⑧ 地域の実情に合った医療環境の整備

地域重点事項

- ▶ 渡良瀬遊水地の自然環境保全(ラムサール条約登録による取り組み)等
- ▶ 「道の駅みかも」での地域情報発信等
- ▶ 藤岡駅周辺整備(駅前広場・道路・区画整理事業)等
- ▶ 各エリアの有機結合施策の実施等
- ▶ 企業誘致の推進
(IC周辺活用エリア並びに産業集積ゾーンへの企業誘致のための環境整備)等
- ▶ 児童館の整備等
- ▶ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進等
- ▶ 藤岡地域及び周辺医療機関情報の発信等

4 都賀地域

■審議経過

年月日		会議名
平成23年	5月26日	第2回都賀町地域協議会
	6月24日	第3回都賀町地域協議会
	6月27日	第1回都賀総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	7月1日	第1回都賀総合支所策定部会
	7月4日	第2回都賀総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	7月11日	第3回都賀総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	7月20日	第4回都賀町地域協議会
	8月26日	第5回都賀町地域協議会・第4回都賀総合支所策定部会ワーキンググループ合同会議
	9月21日	第6回都賀町地域協議会
	9月26日	第2回都賀総合支所策定部会
平成24年	2月24日	第11回都賀町地域協議会
	3月5日	第5回都賀総合支所策定部会ワーキンググループ会議
	3月15日	都賀「地域の姿」策定再検討会議（地域協議会委員出席）
	6月29日	第3回都賀町地域協議会
	7月13日	第3回都賀総合支所策定部会
	7月27日	第4回都賀町地域協議会

■地域別まちづくりテーマ等の検討内容

● 緑いっぱい 文化と産業が調和するまち ●

地域の役割や特性

- 都賀インターチェンジを活かした土地利用の推進や各種産業の振興が望まれる。
- 恵まれた自然環境や多くの郷土芸能を守り活かすことで、様々な交流やコミュニティ活動が活発に展開される、活力あるまちづくりが期待される。

まちづくりの方向

- ① 都賀インターチェンジ周辺の整備
- ② 里地里山の環境を活かしたグリーンツーリズムの推進
- ③ 都市環境の整備
- ④ コミュニティ活動の推進
- ⑤ つがの里を中心とした観光施設の充実とイベントの開催
- ⑥ 公共施設の活用によるイベントの開催
- ⑦ 新たな道路ネットワークの形成

地域重点事項

- ▶ 都賀インターチェンジ北側への企業立地の促進と誘致環境の整備 等
- ▶ 大柿十文字西地区の活性化 等
- ▶ 都市計画道路整備に合わせた商業系土地利用の再編 等
- ▶ 郷土芸能などの継承と各種コミュニティ活動の推進 等
- ▶ つがの里へのアクセス道の整備 等
- ▶ 各種イベントの協働による実施 等
- ▶ 主要幹線道路・幹線市道・都市計画道路等の整備推進 等

5 西方地域

■審議経過

年月日		会議名
平成23年	12月26日	第2回西方町地域協議会
平成24年	3月22日	第1回西方総合支所策定部会
	3月26日	第5回西方町地域協議会
	6月27日	第3回西方町地域協議会
	7月6日	第2回西方総合支所策定部会
	7月25日	第4回西方町地域協議会
	9月26日	第6回西方町地域協議会

■地域別まちづくりテーマ等の検討内容

● 美しく活力のある田園文化都市 にしかた ●

地域の役割や特性

- 前日光の山々の恵みをうけて流れる思川、圃場整備された田園地帯、ふるさとの里山の自然環境、米・いちご・ニラといった特産物、西方城址・八百比丘尼伝説・真名子の八水など数多くの地域資源を有している。
- 「道の駅にししかた」を中心とした情報発信や、観光客を対象とする新たな産業の発展可能性、自然と調和した田舎暮らしなど新たなライフスタイルの実現可能性を検討・展開していくことが期待される。

まちづくりの方向

- ① 中心地区形成プロジェクトの推進
- ② 道の駅と連携した交流拠点整備
- ③ 真名子地区生活環境の整備
- ④ 都市機能の整備
- ⑤ 魅力ある観光資源・施設の整備
- ⑥ 地域文化・歴史等の継承

地域重点事項

- ▶ 金崎駅西口開設及び周辺市街地の整備推進 等
- ▶ 地域ブランドづくりの支援 等
- ▶ 生活道路、狹隘道路の整備 等
- ▶ スマートインターチェンジの誘致 等
- ▶ 金崎さくら堤の保全・拡充 等
- ▶ 西方城址の整備 等

6 岩舟地域

■審議経過

年月日		会議名
平成26年	5月26日	第1回岩舟町地域協議会
	6月26日	第2回岩舟町地域協議会
	7月29日	第3回岩舟町地域協議会
	10月27日	第6回岩舟町地域協議会

■地域別まちづくり等の検討内容

地域の役割や特性

- 岩船山の断崖を利用したコンサートイベントの開催や三轟山東山麓のとちぎ花センターなどの施設が整備され、観光交流拠点としての機能を有している。
- 国指定文化財の村檜神社などの文化財を有するとともに、世界史的偉人「慈覚大師円仁」縁の地としての歴史文化を有している。
- 東北自動車、国道50号などの広域道路やJR両毛線、東武日光線など公共交通が整備された恵まれた立地条件を有している。

まちづくりの方向

- ① 岩藤大規模開発の推進
- ② 駅周辺エリアの整備
- ③ 三轟山東山麓エリアの活用
- ④ 国道50号沿線地区の整備
- ⑤ 都市基盤の整備
- ⑥ 子育て環境の充実
- ⑦ 地域性を活かした特色ある文化の振興

地域重点事項

- ▶ 岩藤大規模開発の推進 等
- ▶ 岩舟駅南口の開設及び周辺市街地の整備促進 等
- ▶ フルーツパーク周辺への滞在型市民農園の整備 等
- ▶ 国道50号沿線地区への企業誘致 等
- ▶ 静和駅西側の住環境整備(区画整理事業) 等
- ▶ 遊具を主とした岩舟総合運動公園の施設の充実 等
- ▶ 史跡を活用した地域文化と観光の振興 等

4 用語解説一覧

【あ行】

ICT	：Information and Communication Technology の略。情報通信技術のこと。
アイデンティティ	：「同一性」「本人であること」「個性・独自性」などを意味するもの。
アウトカム指標	：施策や事業の実施により発生する効果・成果を表すもの。
アウトプット指標	：事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量を表すもの。
アンテナショップ	：地域の魅力や資源などの情報を発信するとともに、特産品などの販売施設や地元食材を味わえる飲食施設等を設置する店舗のこと。
医療福祉モール	：総合的な医療・福祉の拠点として複数科の診療所や福祉介護施設等の集積する区域のこと。
インダストリアル・パーク	：広大な敷地に緑地や公園などが計画的に配置された工業団地のこと。
エコオフィス	：省エネルギー等の環境に配慮した活動に取り組む事業所のこと。
エコタウン	：環境と調和したまちのこと。
NPO	：Non-Profit Organization の略。市民の自発的な社会活動を行う営利を目的としない組織・団体を指す。「特定非営利活動促進法」に基づく法人格を持つものをNPO法人という。
温室効果ガス	：大気中の二酸化炭素やメタンなど、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあるガスのこと。

【か行】

介護保険制度	：介護の負担を社会全体で支えあうため、40歳以上の全員が加入し、保険料を支払い、介護が必要になった時にサービスを利用することのできる仕組みのこと。
拡散型都市構造	：高度成長期以降の急激なモータリゼーションの進展により、低密度な市街地の外延化、都市機能の拡散・散在などが進行した都市構造のこと。
合併処理浄化槽	：生活排水とし尿をあわせて処理することのできる個別設置型の水処理施設のこと。
希少種動植物	：国内希少野生動植物種に指定されているもの。
急患センター	：平日（夜間）や休日に病気になった時のために診療を行う施設のこと。
救急救命士	：救急現場や救急患者を搬送中の救急車内で、医師の指示のもとに救急救命措置を行う者のこと。
緊急防災情報伝達システム	：災害時の避難情報や警報などを、多様な通信・放送手段により市民に確実かつ迅速に伝える仕組みのこと。
クリーンエネルギー	：電気、熱などに変えても有害物質の排出が少ないエネルギーのこと。
後期高齢者医療制度	：高齢者と若年世代の費用負担の均衡を図る観点から創設された、75歳以上の高齢者などを対象とする独立した高齢者医療制度のこと。
公共下水道	：河川など公共用水域の水質保全を図るため、主に都市部の下水（雨水及び汚水）を排除・処理して川に流す施設を整備する事業のこと。
コーホート要因法	：基準年次の男女別・5歳階級人口をもとに、自然動態（生残人口・出生人口）と社会動態（移動人口）を考慮して推計するもの。
子育て支援センター	：育児相談の対応、指導、育児講座の開催、育児提供者や施設の紹介、親の仲間作りの場としてトータルな子育て支援を行う。
コミュニティバス（ふれあいバス）	：地域の住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置等を工夫したバスサービスのこと。

【さ行】

シース	：顧客となる住民に対して地方自治体が提供できる新たなサービスなどをいい、将来、住民が望むであろう制度やサービスの種を施策にちりばめることで潜在的なニーズを掘り起こすことができる。（※ニーズ：顧客となる住民の要求や要望）
自主防災組織	：「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感のもと、災害による被害の予防や軽減のための活動を行う、地域住民が自主的に結成する組織のこと。
自然エネルギー	：太陽光や熱、風力、水力、地熱など自然現象から得られるエネルギーのこと。
指定管理者制度	：公共施設の管理委託先について、公的主体に限定していた管理委託制度にかわり新たに導入された制度。NPOや株式会社などの民間主体が、議会の議決を得て指定管理者として指定されれば、公共施設の管理を行うことができる。
市民協働まちづくりファンド	：市の支出金と市民や企業からの寄附金を積み立て、補助金の原資として、市民活動団体が行う公益的な事業のために活用しようとする制度のこと。
社会福祉協議会	：社会福祉法に基づく、社会福祉活動の推進を図る営利を目的としない民間組織のこと。
収納率	：納付されるべき金額のうち実際に納付された金額の割合をいう。
重要伝統的建造物群保存地区	：都市計画と連携しながら、歴史的な集落や街並みの保存・整備を行う伝統的建造物群保存地区のうち、特に価値が高いものとして国が選定したもの。
循環型社会	：環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限におさえる社会をいう。
消費生活センター	：消費者契約のトラブルや消費生活全般に関する相談を行う。
新市まちづくり計画	：合併特例法に基づき、合併後の新市を円滑に運営していくためのマスタープランとして策定するもの。
スケールメリット	：規模を大きくすることで得られる利益のこと。
ストック	：道路・公園・上下水道など、生活や経済活動に必要な施設で、既に整備されているもの。
スマートインターチェンジ	：高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアなどからETCを搭載した車両のみが乗り降り可能なインターチェンジのこと。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のインターチェンジに比べて低コストで設置できるなどのメリットがある
成熟型社会	：右肩上がりの人口・経済の成長が落ち着き、開発基調や量的拡大を目指すのではなく、精神的な豊かさや生活の質の向上などが重視される社会のこと。
セーフティネット	：社会全体としてリスクに備える安全網（防護策や救済策）のこと。

【た行】

男女共同参画社会	：男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会のこと。
地域協議会	：「市町村の合併の特例に関する法律」や「地方自治法」に基づく地域自治区に設置される住民代表組織のこと。
地域自治区	：地方自治法又は合併特例法により、地域住民と行政の連携を強化し、住民自治の充実を図るために設置することができる組織のこと。
地域主権改革	：国が地方に優越する上下の関係から対等なパートナーシップの関係への転換を図り、地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会の形成を目指すとするもの。

【た行】

地域包括支援センター	：地域における高齢者の暮らしを支えるため、介護や福祉、医療等の総合的な相談や介護予防の支援などを行う地域の中核機関として、市町村又はその委託を受けた法人が設置するもの。
地域会議	：各地域の住民代表組織として市内8地域に設置される市の附属機関で各種団体推薦、有識者、公募委員で構成されます。 地域の意見集約・調整を行い、地域の意見を市長に届けるとともに、市長からの意見聴取に回答します。また、一定枠の範囲で市長に予算の使い道を提案できます。
地域まちづくりセンター	：各地域に設置される地域会議の事務局を担当するとともに、まちづくり実働組織の運営支援等を行います。
中小企業勤労者福祉サービスセンター	：中小企業単独では実施しがたい福利厚生等の事業を中小企業に代わって提供する。
デマンドタクシー（蔵タク）	：タクシーが電話などで予約した利用者の自宅や指定する場所を順次まわりながら利用者を乗車させ、それぞれの目的地などで降車させるなど、利用者の多様な需要（デマンド）に合わせた交通システムのこと。
栃木市自治基本条例	：自治の基本理念や基本原則等を定めた市の最高規範として位置づけられる条例のこと。
栃木市マネジメントサイクル	：持続可能な行財政運営に向けて、総合計画・行政改革大綱・行政評価システム・予算配分を連動させ、効果的・効率的な事業実施や予算編成を図るための新たな仕組みのこと。
とちぎ市民活動推進センターくらら	：市民による社会貢献活動を推進するための拠点として、市民活動の普及・啓発、情報提供、市民活動団体の支援などを担う施設のこと。

【な行】

農業集落排水	：農業用排水の水質保全や農村生活環境の改善などを目的に、農業集落におけるし尿や生活雑排水などの汚水を処理する施設を整備する事業のこと。
--------	---

【は行】

パブリックコメント	：基本的な施策等を計画決定する際に、事前に内容を公表し、広く市民の意見等を伺おうとするもの。
病院群輪番制	：病院が輪番で夜間休日の救急医療を行うもの。
フードバレー構想	：栃木県の持つポテンシャルを最大限に活かし“食”に関連する産業の振興を目指す構想のこと。

【ま行】

マイバッグ運動	：買い物袋などを持参し、買い物ごみの発生につながるレジ袋の利用や過剰な包装などを削減するために行動すること。
まちづくり実働組織	：住民が自発的に設置する任意組織で地域内の団体や住民が構成員となり、地域会議と協力しながら地域の課題解決や地域活性化のために活動します。市長の認定を受け、市の助成を受けることができます。
メタンハイドレート	：低温高压の条件下で、水分子にメタン分子（天然ガス）が取り込まれ、氷状になっている物質。分離されたメタン分子は在来型天然ガスの主成分と同じものであり、非在来型の炭化水素資源として期待されている。
メンタルヘルス	：精神の健康を保つこと。

【ら行】

ライフステージ	：年齢に伴い変化する生活段階や年代別の生活状況のこと。
ラムサール条約	：1971年にイランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において採択された「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」のこと。
リサイクル型ライフスタイル	：環境への負荷を減らすため、貴重な資源の再利用などに配慮した活動を心がける生活様式のこと。
リラクゼーションスポット	：安らぎや癒しの感じられる場所のこと。
ローリング方式	：計画を継続的に推進していくために、計画の期間内に新たな計画の見直しを行う方式。

【わ行】

ワンストップ窓口サービス	：一度の手続きで関連する手続きを済ませることのできるサービスのこと。
--------------	------------------------------------